

報告第2号

## 平成30年度事業計画及び予算について

公益社団法人塩谷町シルバー人材センター平成30年度事業計画及び予算について、次のとおり報告します。

平成30年6月20日

公益社団法人塩谷町シルバー人材センター  
理事長 斎藤邦男

### (提案理由)

平成30年度事業計画及び予算について定款第41条第3項の規定により、総会に報告するものである。

## 平成30年度事業計画について

### I. 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は年々増加を続け、平成29年9月の人口推計では高齢化率が27.7%で約4人に1人強となっております。当町の平成30年3月の人口は11,490人、65歳以上は4,096人で既に35.6%、約3人に1人強が高齢者となっています。

当町でも、少子高齢化を迎え労働人口の減少が懸念されるなか、当シルバーにおいては会員一人ひとりが知識・経験、そして技術を活かしての活動は大変貴重、かつ大きな労働力となって地域に貢献しており、また、その活動は会員の健康維持、生きがいづくり、更には元気な街づくりにも繋がるなど、今後、当シルバーに寄せられる期待は増え大きなものとなってきています。

また、平成29年4月に改正施行された「高年高齢者等の雇用の安定等に関する法律(高齢法)第39条により、要件緩和された労働者派遣事業又は職業紹介事業において、県知事が指定する業種・職種については週40時間まで就業が可能となったことから、今後は派遣事業も視野に入れ関係機関団体との関わりも重要な課題の一つとなっています。

以上のことから、平成30年度は当センターの事業内容、諸活動など幅広い周知に努め会員増加を図りより充実した組織づくりをめざし、時代のニーズに沿った塩谷町シルバー人材センターの構築に努めて参ります。

### II. 事業計画

#### 1. 法人運営

##### (1) 理事会

事業執行状況や会員の入会・予算承認など、当センターの事業運営にとって重要な案件を審議・決定する為に年4回程度開催する。

##### (2) 組織強化

- ア 役職員の連携を密にして、事業運営を進める為の研修会を実施する。
- イ 職員の知識拡大を目的に、事業に関する外部研修等に派遣する。

#### 2. シルバー人材センター事業

##### (1) 就業機会提供事業

センターは、町内の60歳以上の高齢者に対し、次の形態で「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る就業の機会を提供する。

##### ア 請負・委任

当センターの会員に対し、民間や公共から請け負った仕事について、請負または委任契約により提供する。

##### イ 職業紹介事業

公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会との「職業紹介事業実施に関する協定」に基づき、60歳以上の求職者に対し、雇用職業を紹介する。

ウ 一般労働者派遣事業

公益社団法人栃木県シルバー人材センター連合会との「一般労働者派遣事業実施に関する協定」に基づき派遣労働を提供する。

(2) 就業機会確保事業

当センターは、60歳以上の高年齢者に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る就業機会を確保するために、次の事業を実施する。

ア 普及啓発及び就業開拓推進事業

- ① 社会奉仕作業によりセンターのPRとイメージアップを図る。
- ② 町広報誌への掲載、及び地域の高齢者に対してチラシの配布等を実施し、センターのPR活動とともに会員確保に努める。
- ③ 塩谷地区2市2町との「塩谷地区シルバー人材センター相互支援に関する基本協定書」に基づき相互支援を行う。
- ④ 保護観察及び更生緊急保護対象者への就労支援を行う。
- ⑤ 技能講習会への参加者促進を図り、技能向上による就業機会の増加に努める。
- ⑥ 地域に求められている作業の検討をしながら、就業拡大を図る。

イ 安全・適正就業推進事業

- ① 安全就業委員会を中心に安全適正就業の対策を図るため安全パトロールなどを実施し、会員の安全就業に対する意識向上に努める。
- ② 連合会等の協力を得ながら会員の安全就業講習会を実施し、健康と安全に対する意識の高揚を図りながら事故防止に努める。
- ③ 会員と依頼主とのトラブル防止の為、会員教育に努める。

ウ 会員相互の親睦と社会参加の促進

- ① 会員研修旅行を通じ、会員の親睦向上に努める。
- ② 奉仕作業の参加会員の増加に努め、生きがいと社会参加の促進を図る。